

郡山地域での 「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

〔開催概要〕

日時:平成25年5月13日(月)19:00~20:00

場所:郡山公民館

※平成25年度 第1回目

平成25年7月

鹿児島市 市民協働課

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成25年5月13日(月)19:00～20:00
場所：郡山公民館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
1	郡山校区 男性	① 旧郡山町の町営住宅では、入居者に自治会への加入を依頼しており、ほとんどが加入していたが、合併後、市営住宅の入居者の中には町内会へ加入しない人もいる。市営住宅に入居する際には、町内会への加入を条件としていないのか。	① 町内会は任意の団体ですので、私どもから強制的に加入してくださいとは言えませんが、市営住宅に入居する際には広報パンフレットをお配りし、町内会に加入して地域と連携してほしいという強いお願いはしております。 地域の核は町内会組織であると位置づけ、町内会に加入していただくように、皆さま方と連携をとりながら、行政としても対応をしていきたいと思っております。	市民局 建設局	(市民局) 町内会は住民にとって最も身近な地域のコミュニティ組織であるとともに、市政における重要なパートナーであることから、本市では、これまであらゆる機会を捉え、町内会への加入促進を図っているところでございます。 市営住宅入居者への町内会加入促進につきましても関係課と連携を図って対応してまいりたいと考えております。 (建設局) 今後とも、入居契約説明会の際に、町内会加入を促すパンフレットを配布するとともに、「入居者のしおり」や市営住宅の入居者を対象とした情報誌「住まいのひろば」等を活用して、町内会加入の必要性を呼び掛けていきたいと考えております。
2	花尾校区 男性	② 八重山公園は大変利用者が多いが、近年、公園内の木や、多目的広場に隣接する共有林の木が伸びて、眺望が悪くなっている。 市の担当課へ相談に行ったら、「青写真と設計図を持ってくるように」と言われた。 公園を活かすためにも、市で共有林を購入するか、補償費を出して伐採するなどの対応してほしい。	② 八重山公園は素晴らしい公園、施設であり、市民だけではなく国内外の方々に利用していただきたいと思っており、そのためには、環境整備が必要であると考えております。 ご提言の内容につきましては、地権者との協議が必要となりますので、担当部局に伝え、どのような対応が妥当か検討させたいと思っております。	建設局	現況確認等を行ったところ、隣接する民有林等に生育している樹木が、同公園からの眺望に影響を与えつつあるようです。今後、眺望を確保するための環境整備が必要になってくると考えられますので、関係者等との協議を行う中で、対策を検討したいと考えております。

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成25年5月13日(月)19:00～20:00

場所：郡山公民館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
3	郡山校区 男性	<p>③ 郡山地域文化協会は、40年を超える歴史を持ち、地域住民の文化活動への参加意欲を高めることや、地域文化の伝承・保存・活用、文化的行事の充実を図るための活動をしている。</p> <p>旧郡山町時代は文化協会への補助金があったが、合併後打ち切りになり、活動を年々縮小せざるを得ない状況にある。</p> <p>地域文化の振興からまちづくりを進めるという観点から、郡山を含めた各地域の文化協会への何らかの補助をお願いしたい。</p>	<p>③ 文化振興については、鹿児島市の重要な柱として事業を進めております。</p> <p>文化協会への直接の補助については今お話しがあったとおりですが、郷土芸能保存団体の活動への補助は実施しております。</p> <p>また、日頃の活動の発表の場を提供するというで、市民文化祭やふるさと芸能祭を開催しております。</p> <p>24年度からは、地域の伝統芸能の継承や、祭を季節の風物詩として情報発信するなど、地域の文化資源を守り育てる取り組みを進めており、今後は、保存団体間のネットワークづくりを進めていきたいと思っております。</p> <p>郡山以外にも様々な文化団体があり、一つ一つの団体の運営の手立てをするのは困難な状況にあるため、そのような整理をさせていただきましたが、郷土芸能の保存についてはしっかりと取り組みを進めていきたいと思っておりますし、統一的に郷土文化の継承をするにはどのような観点からどのような取り組みを進めればよいか、検討・研究させていただければと考えております。</p>	教育委員会	<p>文化協会への直接の補助につきましては、郡山地域以外にも様々な文化団体があり、個々の団体の運営の手立てをするのは困難な状況にあることから、実施していないところでございます。</p> <p>なお、郷土芸能保存団体の活動への補助につきましては現在も実施しているところであり、今後はさらに、文化薫る地域の魅力づくりプランに基づき、地域伝統芸能の保存・伝承に取り組む中で、保存団体間のネットワークづくりなどを進めていくこととしております。</p>
4	郡山校区 男性	<p>④ 郡山麓地区は平成5年の水害で甚大な被害を受けた。</p> <p>その後、平成10年から区画整理事業が行われ、特に平成16年の合併以降は、職員の増員配置や予算の増額など、積極的に取り組んでいただいている。</p> <p>今では街並みも様変わりし、安心安全に配慮した住みやすい街になりつつあると感じている。</p> <p>これも、ひとえに森市長をはじめ、市当局のご尽力の賜物であると感謝している。</p>	<p>④ 郡山中央土地区画整理事業は、平成7年度から26年度までの事業計画で進めており、事業費は146億円となっております。甲突川の河川改修も併せてしていく必要がありますので、県とも連携をとりながら進めていかなければいけないと考えております。事業費も竣工までには膨らむことが予想されますので、国の予算をしっかりと獲得し、早期に終わるように努力していきたいと考えておりますので、今後とも地域の皆さまのご協力をいただければと思います。</p>	建設局	市長回答のとおり

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成25年5月13日(月)19:00～20:00

場所：郡山公民館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
5	郡山校区 男性	<p>⑤ 先ほど地域コミュニティ協議会設立の説明を受け、大変いいことだと思った。しかし、いろいろな組織が校区の中で協議会を作るということで、問題なのは、町内会への加入率が減少しているということである。</p> <p>町内会への加入について、行政からは強くは言えないという回答だったが、行政がある程度踏み込んでいかないと解決しないのではないか。</p> <p>まち美化の推進や見回りなどを町内会に加入している人が中心になって行っていることを、機会があるごとに行政が示し、町内会への加入率を高めることについてもっと積極的に取り組んでほしい。</p>	<p>⑤ 先ほどは、町内会は自主的に設立された組織ですので、行政がペナルティを科したり、強制することはできないというお話でした。</p> <p>一方で、町内会は地域のもっとも核になる団体でありますので、町内会の皆さまと連携して、ごみ問題や青少年育成などに取り組まなければいけないと考えております。町内会はこのような活動を担っていますということは、現在でもお知らせしており、強制はできないかもしれませんが、積極的な町内会加入促進に取り組んでおります。</p> <p>地域コミュニティ協議会の組織の中にも、町内会やあいご会、校区公民館運営審議会、社会福祉協議会などいろいろな団体があり、地域の課題に取り組まれています。いろいろな方が協力してそのまちができていくということも、市民のひろばなど様々な情報媒体を使ってお知らせしていきたいと思っております。</p>	市民局	<p>町内会の役割や活動内容につきましては、市民のひろば等の広報媒体を活用し、周知を図っているところですが、今後もあらゆる機会を捉え、広く市民へ周知を図ってまいりたいと考えております。</p>
6	郡山校区 男性	<p>⑥ 町内会の未加入問題については我々も取り組んでいるが、行政側の真摯な態度が見受けられない。どのような人が地域に転入してきたのか、ある程度情報を提供してもらわないと、町内会が未加入問題に取り組むのは難しい。</p> <p>また、任意団体である自治会が、校区公民館運営審議会へ補助金を出すのは本末転倒ではないかという意見が自治会長からあり、郡山校区自治会連合会は、現在校区公民館運営審議会とは疎遠の状態にある。</p> <p>今後のコミュニティの問題として、調整が必要なのではないか。</p>	<p>⑥ 個人情報保護の問題が、町内会加入を促進できない大きな課題の一つではないかと思っております。国のほうでは、ある一定の組織には、情報を開示してもよいのではということが検討されているようでございます。</p> <p>法ができる前は、町内に誰が住んでいるか、どのような家族構成なのか、といったことは、町内会長はほとんど知っていて、安否も確認できていたのではと思っておりますが、今は個人情報を保護するということで、なかなかできなくなりました。</p> <p>町内会などの組織を生かす際の大きな課題の一つであり、鹿児島市だけではなく、全国の多くの自治体で加入率が減ってきている原因の一つではないかと推測しております。鹿児島市でも、全体的な観点から、取り組みをしっかりと進めていければと思っております。</p>	市民局 教育委員会	<p>(市民局) 市民課窓口においては、転入された方等を対象に町内会への加入をお知らせするチラシ等配付しているところですが、</p> <p>なお、本市が平成23年3月に策定した、鹿児島市コミュニティビジョンでは、町内会や校区公民館運営審議会などの地域コミュニティ組織の連携を強化し、既存の地域コミュニティ組織が集う場として新たな地域コミュニティ連携組織の立ち上げを支援することとしております。</p> <p>今後、地域コミュニティづくりを進めるうえで、「きっかけづくり」「人づくり」「環境づくり」「結びづくり」を進め、地域コミュニティ組織と行政との協働に向けての支援体制の充実・強化を図ってまいります。</p> <p>(教育委員会) 校区公民館運営審議会は、校区内にある学校や町内会、PTA、あいご会等の意思を運営に反映させ、地域公民館との緊密な連携のもとに生涯学習、青少年の健全育成、校区コミュニティ活動を進める役割を担っています。今後、市民局や地域公民館との連携を図り、校区公民館運営審議会が円滑に運営できるように支援していきます。</p>

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成25年5月13日(月)19:00～20:00

場所：郡山公民館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
7	郡山校区 男性	⑦ 我々の自治会では、250戸が自治会に加入し、50名ほどが未加入となっているが、ごみステーションの掃除当番表には未加入の人にも加わってもらっている。また、自治会には未加入でも、あいご会に入ってもらえればよいと私は思っている。これからも、未加入の人に加入してもらえよう、努力していきたい。	⑦ 積極的に町内会加入活動に参画していただき、感謝申し上げます。 町内会に加入してもらうことが鹿児島市のまちづくりの原点であるということで、地域でまとまって様々な課題を解決するのが最善であると、常日頃からいろいろな方法で呼びかけを行っております。公用車に「町内会に入ろう」というステッカーを貼ったり、パンフレットを配ったり、バスや電車の広告を利用したりして、いろいろな手立てを考えておりますが、なかなか進まないのが課題の一つだと思います。色々な地域の自治会の方々の意見も聞きながら、最善の方策を考えていきたいと思っております。	市民局	町内会は住民にとって最も身近な地域のコミュニティ組織であるとともに、市政における重要なパートナーであることから、本市では、今後もあらゆる機会を捉え、町内会への加入促進を図ってまいりたいと考えております。
8	花尾校区 女性	⑧ 合併して鹿児島市になってから、福祉が充実したと感じている。 また、動物園がリニューアルされ、きれいになった。特に足湯が素晴らしいと思う。 動物園に行ったのは、娘が東京から戻ってきたときにパス(＝ウェルカムチケット)をいただいたからだ。このような取り組みも素晴らしいと思った。 また、美術館についても、東京の美大に進学した娘が、作品の集め方など、東京にもないような素晴らしい施設だと感動している。 市長が心を配られて市政に取り組んでおられることを、うれしく思っている。	⑧ まちづくりは人づくり、ということで、地域の人々ががんばっていたことで、まちが活性化すると思っております。 公共施設も、市民の方々に利用してもらうための環境整備が必要であり、市民の方々に愛着を持って活用していただくことで、県民の方々、県外の方々に利用していただけたらと思っております。 平川動物公園をリニューアルしておりますが、年間の利用者は約60万人に増えました。これからも、平川動物公園、水族館、美術館、近代文学館、メルヘン館など、鹿児島市ならではの公共施設を充実させ、多くの皆さまに利用していただきたいと思っております。	建設局 教育委員会	市長回答のとおり
9	花尾校区 男性	⑨ スパランド裸・楽・良から三重岳をのぼり、花尾神社やかくれ念仏洞を通るハイキングコースを作ってはどうか。	⑨ 鹿児島市では、旧5町も含めて、遊歩道の整備を行っております。 花尾神社やかくれ念仏など、郡山地域には素晴らしい史跡がございますので、それらを巡るコースができるかどうか、担当部局に検討させてみたいと思っております。	環境局	緑豊かな美しい自然を楽しみながら、郷土の史跡にも触れることができ、優れた風致又は景観がある地区内の道路等を自然遊歩道とし指定しております。 郡山地域には三重岳自然遊歩道として皆与志コースと南方コースを設置しておりますので、ハイキングコースとして活用していただきたいと思っております。 なお、花尾神社やかくれ念仏洞を含んだ自然遊歩道については、範囲が広く、安全確保等の課題もありますので、今後調査してまいりたいと思っております。

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成25年5月13日(月)19:00~20:00
場所:郡山公民館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
10	郡山校区 男性	⑩ 町内では、ごみステーションまで遠いため、車でごみを運んでいる人が多い。 20世帯に1か所という設置基準はあるが、各戸から100m以内になるよう、ごみステーションを設置してもらえないか。	⑩ 今お話がありましたように、設置基準ではごみステーションは20世帯に1か所となっておりますが、住宅が密集しているところや離れているところ、いろいろございますので、同じ条件では難しいところがあるかと思えます。 ごみステーションにつきましては、地域の方のご協力もいただかなければなりませんので、担当部局に伝えておきたいと思えます。	市民局 (郡山支所)	ごみステーションの増設については、自治会からの申請により設置することになっており、運営及び管理についても、自治会で行っていただいています。 ごみステーション整備には、市の補助金制度もありますので、設置希望箇所については個別に相談していただければと思います。
11	郡山校区 男性	⑪ ごみ出しについて、行政から違反が多いと指導を受け、地元の人には決められた日に出すようお願いし、守ってもらっている。 しかし、集落には川内への通り道となる県道36号線が通っているため、地域外の人が決められた日以外にごみを投げ入れるので、何か良い方策はないか。	⑪ 他の地域から来てごみを捨てるという違反行為は、郡山だけでなく、他の地域でも起こっております。環境局に巡視員という制度を設け、市内を回り、不法投棄の現場を見つけた際には注意をしておりますが、なかなか解消できない状況にありますので、より巡視回数を増やして、しっかり対応していきたいと思えます。 また、同じ鹿児島市内でも、他の地域へごみを持っていく人がおられるようですので、ルールを守るよう、指導を強化していきたいと思えます。	環境局 市民局 (郡山支所)	(環境局) 市長回答のとおり (市民局) 地域外のごみの持ち込みについては、のぼり旗や禁止看板を設置し、囑託員が定期巡回を行っているところですが、今後とも巡回・指導等を強化していきたいと思えます。